

## 知識・技術が身について

JCHO九州病院初期臨床研修医 2 年目の福田彩乃と申します。東筑高校出身で、九州大学に進学し、6 年間福岡市で暮らしていましたが、研修を機に北九州へ帰って参りました。

九州病院での研修は内科・外科・小児科・産婦人科・麻酔科・救急・緩和ケア・地域医療と、数ある研修病院の中でも幅広い分野について学べるのが特徴です。新専門医制度が始まり、内科医には専門分野に限らず、内科全般の知識がこれまで以上に求められるようになってきており、研修先として九州病院を選択して良かったと感じています。めまぐるしいローテーションの中で様々な分野について学びながら、日々の業務を行うことは簡単ではありませんが、2 年目も後半となり、少しずつ知識・技術が身についてい

JCHO九州病院 福田 彩乃

ることを感じることができています。

3 年目以降は呼吸器内科として働くこととなりました。肺炎、喘息、COPD、肺癌、間質性肺炎など幅広い分野があり、未だ有効な治療法がない疾患も多く、やりがいのある科だと感じ、選択しました。治すばかりではなく、緩和ケア領域にたずさわる機会が多いことも、魅力のひとつだと感じました。まだまだ知識不足なことが多く、反省の多い毎日ですが、良い指導医にも恵まれ、楽しく研修生活を送ることができています。

研修が修了すれば、今後どこの病院で診療することになるかはまだわかりませんが、これまで自分を育ててくれた地域の方々のお役に立てるよう、より一層気合いを入れて、日々の診療に取り組んでいきたいと考えております。